

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立東文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与すること	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
平成27年4月1日から令和2年3月31日まで（5年間）	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">・貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関する事・ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行う事・施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関する事・消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備える事・市から貸与を受けた備品を適切に管理する事・利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行う事・自主事業に係る業務に関する事	
(7) 有料施設の有無	
有(利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
SAYAKAホール	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

近隣の学校、文化団体をはじめとする地域住民や利用者とのコミュニケーションを積極的に図ったり、東区の特徴を生かした公演・展示を開催するなど、地域文化会館として地域貢献に取り組んでいる。

(2) 利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団
ア 利用者数 (人)	247,800	234,040	241,542	232,853	
利用者数の算出方法	文化芸術振興事業、自主事業、貸館事業等で東文化会館を利用した人数				
市による状況分析	東文化会館としての特徴ある事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により前年に比べて減少した。				

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
イ 稼働率 (%)	89.0	89.1	88.8	88.0	
稼働率の算出方法	ホール、フラットホール、ギャラリー、生涯学習施設(諸室)等における指定管理者主催事業や貸館事業等による稼働率				
市による状況分析	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、微減にとどまり、指定管理者の目標である85%を達成した。				

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ウ 利用者満足度 (%)	97.6	80.4	90.3	96.2	
利用者満足度の測定方法	主催事業の入場者及び貸館利用者合わせて324人からアンケートを回収し、5段階評価のうち3(普通)以上を満足として測定				
市による状況分析	会館職員が利用者に満足してもらえるよう意識を高く持ち、普段の接客や事業内容を見直すことで、利用者の満足度向上につながった。				

(3) 管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	18	18	18	18	18
イ 職員研修(回) ※令和2年度は予定回数	4	6	6	8	8
ウ 要望、苦情等(件)	0	0	0	0	—
エ 事件、事故等(件)	2	0	2	1	—

市による状況分析	指定期間を通して職員研修増やしていることが苦情なしを維持できている要因の一つと考えられる。
----------	---

(4)収支状況(単位:円)

■指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	114,988,000	116,168,000	114,148,000	114,710,000	112,700,000
	利用料金	52,460,155	50,867,037	49,607,451	45,192,805	51,700,000
	負担金	0	0	0	0	
	その他収入	6,779,602	6,116,146	7,619,266	13,103,354	7,230,000
合 計		174,227,757	173,151,183	171,374,717	173,006,159	171,630,000
イ 支出	人件費	53,866,115	59,515,709	60,724,711	63,724,022	56,918,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	70,682,855 (43.3%)	66,712,925 (39.8%)	68,185,280 (40.5%)	79,912,902 (43.8%)	70,897,000 (41.3%)
	修繕費	3,074,413	2,568,441	1,636,124	1,470,506	2,900,000
	光熱水費	20,899,942	22,271,066	21,435,757	20,540,796	22,100,000
	その他経費	14,676,892	16,405,749	16,177,321	16,654,306	18,815,000
合 計		163,200,217	167,473,890	168,159,193	182,302,532	171,630,000
利用者一人当たりの支出額		659	716	696	783	—
ウ 収支差額		11,027,540	5,677,293	3,215,524	-9,296,373	0

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—

市による状況分析	収入について、新型コロナウイルス感染症の影響等により利用料金収入が下がった。一方、文化芸術振興事業の回数を増やしたことにより委託料が前年に比べ増加したことから、支出額が増加した。これらのことを主な要因として全体収支がマイナスに転じた。
----------	---

■自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	1,909,698	1,507,708	1,509,230	2,112,642	1,925,000
イ 支出	3,701,296	1,857,953	1,733,824	2,282,512	1,855,000
ウ 収支差額	-1,791,598	-350,245	-224,594	-169,870	70,000

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
オ 事業数(回)	11	7	7	7	
カ 参加者数(人)	1,311	1,077	947	946	

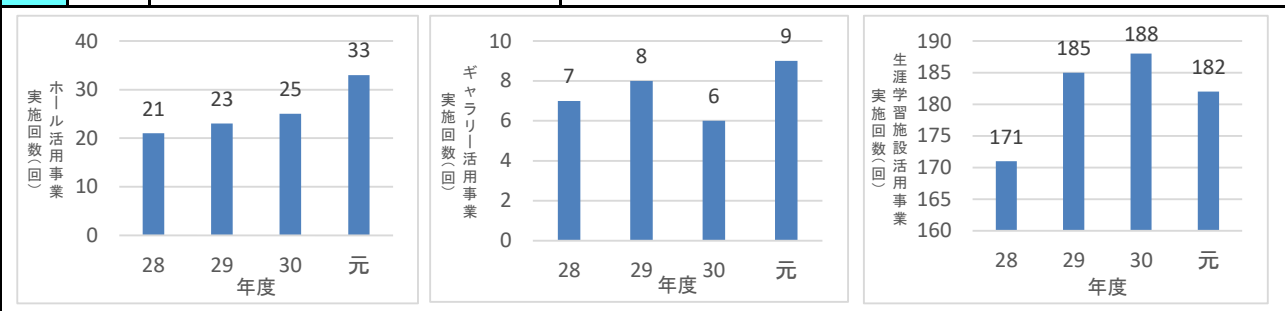
主な自主事業	歌声喫茶、東文化カラオケ発表会、各種文化講座等
--------	-------------------------

市による状況分析	事業回数、参加者数ともに前年度と同水準であった。
----------	--------------------------

3 目標管理、評価等

(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	①ホール活用事業：「鑑賞型」「参加型」「普及型」公演事業の年間実施回数 ②ギャラリー活用事業：年間実施回数 ③生涯学習施設活用事業：年間実施回数	(設定理由) 市民文化の創造及び振興に寄与するための施設としての適正な管理運営の確保を評価する指標であると考えられるため。
	目標	①6回以上 ②3回以上 ③12回以上	(設定理由) ①2ヶ月に1回②4ヶ月に1回③1回程度実施するものとして目標値を設定している。
	実績	①33回 ②9回 ③182回	(分 析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標を大幅に上回った。



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	施設の建築年から10年以上が経過し、経年劣化による故障等が複数箇所修繕した。本市が工事する場合は、適切に協力し対応した。
---------------------------------------	--

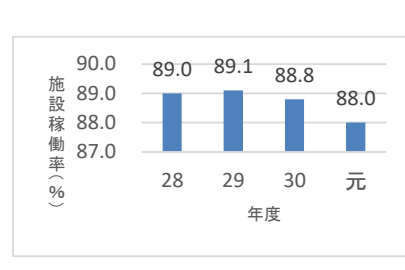
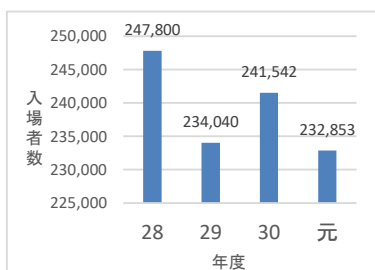
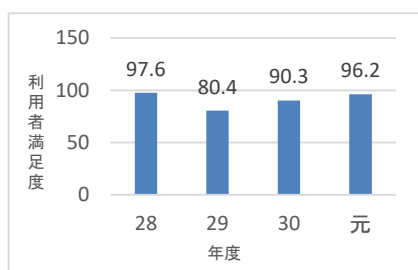
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A		A
	具体的な理由	①～③の目標を大きく上回り達成した。ホール活用型事業では鑑賞型が23回、参加型が5回、普及型が5回、ギャラリー活用事業では9回実施した。指定管理期間内で実施した事業で希望のあった事業の再演と地域団体との協働そして地域経済の活性化を目指した新規事業を実施し、地域振興を図った。生涯学習事業では年間シリーズで陶芸と落語ワークショップを実施した。音楽から古典芸能までの幅広い内容で子どもから大人までが楽しめる事業を展開できた。	ホール活用事業、ギャラリー活用事業、生涯学習施設活用事業ともに、市が求める目標を大幅に上回る回数の事業を実施しており、地域の学校や団体と連携して、地域の文化拠点として事業展開できている。	
対応策等	来年度も幅広く事業を実施展開する予定。事業対象を子ども向け、高齢層向けに特化して事業を展開し、入場者数及び収入の増加をめざす。	若年層から高齢者層まで様々な事業が展開できている。利用者獲得に向けて、今後も魅力的な事業実施に取り組まれない。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	①利用者満足度 ②入場者数 ③施設稼働率	(設定理由) 施設の利用し易さ、又は施設で行う事業の魅力を反映しやすい指標として考えられるため。
	目標	①90% ②25万人 ③80%	(設定理由) これまでの実績を踏まえた目標値を設定している。
	実績	①96.2% ②232,853人 ③88.0%	(分析) 利用者満足度、施設稼働率は達成できたが、入場者数は未達成であった。前年度と比較しても入場者数は下がっているが、新型コロナウイルス感染症の影響が原因と考えられる。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	ロビーを活用してのコンサートや自習スペースの提供など新規利用者のニーズに合わせて施設を活用している。
--	--

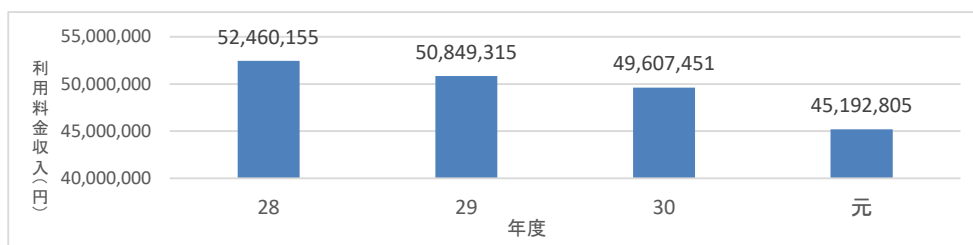
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	ホール公演等について宣伝が不足しているとの意見を受けて、市広報、財団広報と合わせてフェイスブックの活用や、「東文化会館便り」の発行回数を増やした。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	A	B
具体的な理由	①と③は目標を達成したが、②の利用者数としては17,147人の未達成となった。①については東文化会館に勤務するすべての職員のたゆまぬ努力③については立地条件の良さで職員の努力によるもの。②は昨年に続いての課題となる。	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、①と③については、非常に高水準を維持できている。②は未達成であったため、主催事業等の参加者数を増やすための方策が必要である。	
対応策等	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による貸館の減という大きな要因があるにせよ来年度は人員減に対しては真摯に取り組み、学校、企業、地域団体等に更に接触することで、ホールへの認知を少しでも広げることにより利用回数の増を図ることで利用者増に繋げる。	ホールの稼働率を上げることで、利用料金を増やすとともに、主催事業の内容を更にブラッシュアップしたり、様々な宣伝媒体を活用することなどによって入場料収入を増やすよう努められたい。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 指定管理者において営業努力が反映されやすい指標のひとつとして考えられるため。
	目標	49,000千円	(設定理由) これまでの実績を踏まえた目標値を設定している。
	実績	45,192,805円	(分析) 目標未達成であった。新型コロナウイルスの影響で貸館利用のキャンセルが相次いだことが主な原因と考えられる。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項

文化芸術振興事業について、中間業者を介さず直接出演者と交渉することで支出減につなげた。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

特になし

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	B	
	具体的な理由	<p>目標に対し、3,117,905円の減となった。大きな原因は新型コロナウイルス感染拡大防止による貸館の減とそれに伴う設備使用料の減によるものだが、メインホールの稼働率を上げることも課題として残される。</p>	<p>昨年度と比較すると稼働率が若干減少したものの、引き続き一定レベルを維持している。新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、目標には届かなかった。</p>
対応策等	<p>特にメインホールを中心にフラットホールやギャラリーにおいて、魅力的な主催事業を実施することにより会館の価値を高め、来館者数と来館頻度を高め、更なる利用料金収入の増加につなげる。</p>	<p>会館の主催事業を平日に実施するなど、今年度の改善内容を継続することで、メイン・フラット両ホールの稼働率を上昇させるとともに、平日利用の活性化をめざされたい。</p>	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの